

# まちむら寄り添いファシリテーター養成講座(仮称) [対話と学びで地域をつくるワークショップデザインを学ぶ]

※本資料に記載の内容は平成30年5月17日現在のものです。  
今後変更が生じる可能性がありますのでご了承ください。

## コンセプト

10年後、20年後に向けて持続可能な地域づくりを目指し、自分たちの地域の価値や可能性、課題を捉えなおし、住民が主体となった活動の芽を産み育てる「対話を通じた学びの場」を、地域住民の方々と共に作っていく方法を、座学と活動実践を組み合わせることで学んでいきます。

### 育成を目指す 人材像

- 地域を中長期的かつ多面的・複合的な視点から捉え、地域の価値や可能性を地域住民が再発見する手助けができる人材
- 対話や経験学習を通じた地域住民の「学び」を促すことができる人材
- 上記を通じて、持続可能な地域づくりに向けた地域住民主体の活動の芽を育てられる人材

### 講座で 身に付ける 力

- 基本的なファシリテーション技法・心構え  
+
- 地域を中長期的かつ多面的・複合的な視点・視座で捉える力
- 想いやアイデアを引き出す「問いを立てる」力
- アイデアややる気を育てる「意味付け」の力
- プレーヤーや協力者を巻き込み促す力
- 自ら実践し、学び続ける力

### 受講対象

- 中間支援的活動を志向する者  
・既に担い手の支援を行っている方  
・地域おこし協力隊OB・OG など
- 地域のリーダーや地域づくり活動の右腕的人材
- 現場を担当する市町村職員 ●公民館職員 ●県職員

## 修了後の活動イメージ

- 住民や多様な関係者が地域について学び、地域の担い手として育っていけるようなワークショップをはじめとした場づくりを継続して実施し、ファシリテーターとして活動します。  
・地域の単位は集落、自治会、商店街、学区など様々。テーマやニーズに応じて設定。  
・テーマも幅広く、地域の価値や資源を探したり、課題の解決方法や遊休施設の活用方法を検討したり、ゆくゆくは地域ビジョンの策定や施策提言なども。
- 地域で頑張る団体や担い手同士を結び付けたり、地域住民を巻き込んだりと、地域づくりを活性化する触媒役として活躍します。
- 活動の成果は1年や2年では出ないかもしれませんが、修了後も、共に受講した仲間が地域を越えて協力し合ったり、講師陣のフォローアップを受けたり、次年度の受講生の手も借りながら、活動を継続することが重要です。長野県も全力でバックアップします。

## 講師紹介



### 広石 拓司 氏

Hiroishi Takuji

【株式会社エンパブリック代表取締役】

「思いのある誰もが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、地域や組織の人たちが知恵と力を持ち寄る場づくり、仕事づくりに取り組む。社会起業家の育成のほか、対話を通じて地域住民を新たな公共の担い手へと育てるプロジェクトを行政と協働で数多く実施。



### 新 雄太 氏

Shin Yuta

【東京大学大学院工学系研究科 特任助教】

建築設計・意匠、地域運営、空き家活用まちづくり等を専門領域としながら、長野県各地の様々な地域づくり事例に精通し、信州大学在職時には地域課題解決人材育成講座「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」に中心的な存在として携わる。多様な主体が関わるワークショップの開催経験も豊富。

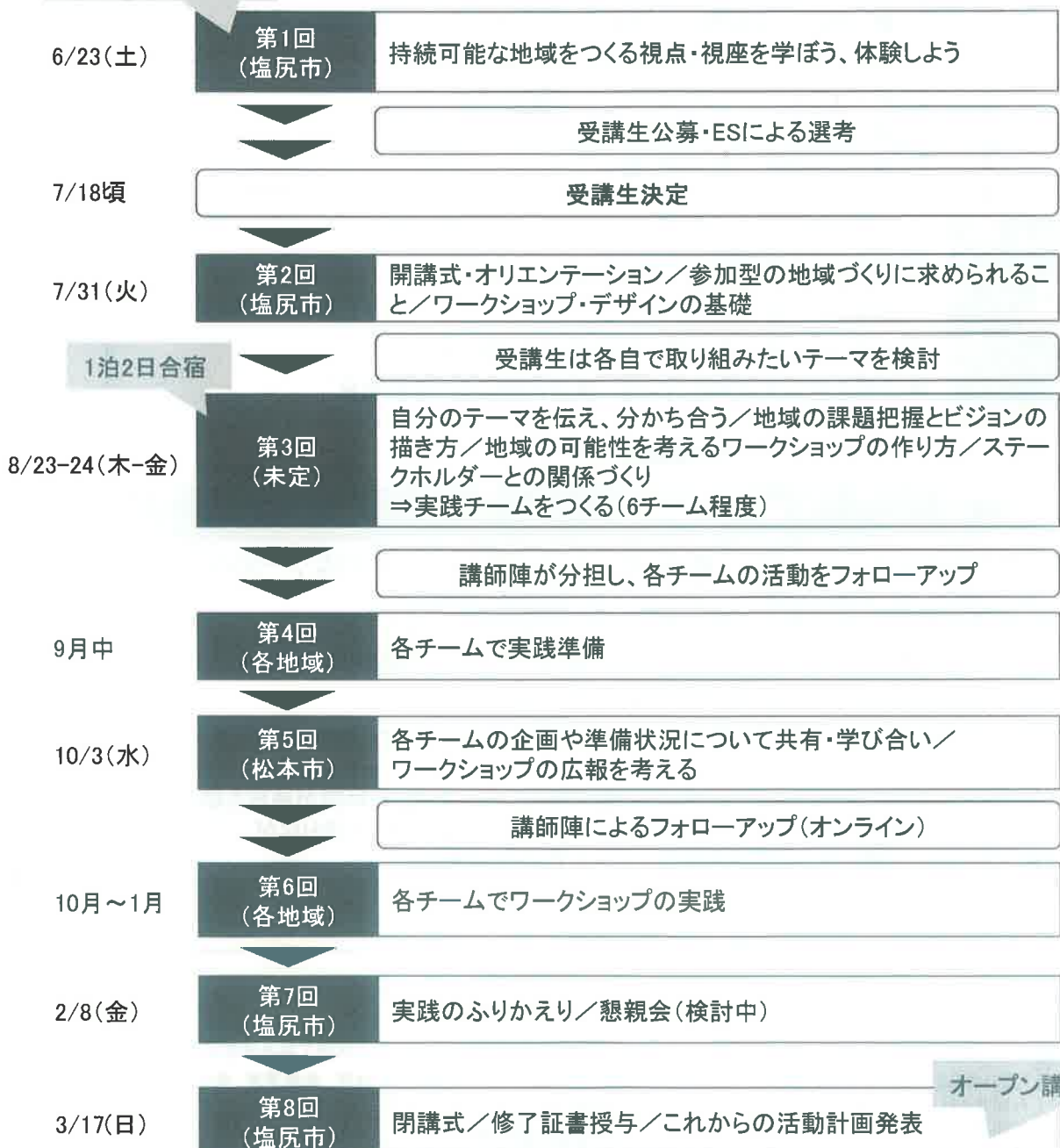
## 講座概要

- 講座回数 | 全8回(9日間) ※第1回はプレ講座として公開で実施
- 講師 | 株式会社エンパブリック 代表取締役 広石 拓司 氏  
東京大学大学院工学系研究科 特任助教 新 雄太 氏  
(長野県参与 船木成記 氏 /文化財・生涯学習課企画幹 木下巨一 氏 )
- 受講人数 | 上限50名
- 受講要件 | ①特段の事情がない限り、すべてのカリキュラムに参加できること  
(交通費ほか必要経費は受講生負担)  
②受講後2年間、県のフォローアップを受けながら地域住民の学びを促す活動を行う意欲と見込があること
- 選考 | 公開のプレ講座実施後、受講希望者からエントリーシートを受け付け、意欲や活動見込等について審査の上、選考

## カリキュラム・スケジュール

※塩尻市はえんぱーく(塩尻市市民交流センター)等を想定

### オープンプレ講座



オープン講座(検討中)